

てをつなGO

2020.Autumn vol.126

CONTENTS

今号はナツボラ大特集!
今年もナツボラ!に参加しました
U-30特別編 ナツボラ記者大集合!
withコロナのナツボラ

てをつなGO

発行・編集・高知県ボランティア・NPOセンター
〒890-8557 高知市朝倉375-1 高知県立ふし交流プラザ4F 高知県社会福祉協議会内
Tel:088-850-9100 Fax:088-844-3882 E-mail:kvnc@pippikochi.or.jp

2020 withコロナのナツボラ

2014年からスタートし、7年目を迎えたナツボラ。この夏は、コロナウイルスの流行によって、私たちの生活は様変わりしてしまいました。けれど「こんな時こそつながりを大事にしたい」、「誰かの役に立ちたい」、そんな声を受け、今年もナツボラを実施。そして、たくさんの方が参加してくれました。

いつもとは違う夏。けれど、その違いを受け入れて、みんなで力を合わせて乗り越える。今年は、そういうナツボラになりました。



アラクモチを再生する会

農作業ボランティア

屋外で出来るボランティアということもあってか、今年は、とてもたくさんの申込みがありました。参加者へのエールの握手は、我慢。

いの町地域子育て支援センター ぐりぐらひろば 保育ボランティア

毎年、参加者が多くぐりぐらひろばですが、今年は1日に1人と決めて受入れを続けてくれました。



高知県ボランティア・NPOセンター

切手の整理ボランティア

検温、消毒、ソーシャルディスタンス。密を避けて、いつもより小人数で開催しました。



ナツボラ2021も実施する予定です!

今だから、今こそできるボランティアがきっとあるはず。来年もみんなと一緒にナツボラの輪を広げていきませんか?

ナツボラについてのお問合せ

高知県ボランティア・NPOセンター
TEL:088-850-9100
MAIL:kvnc@pippikochi.or.jp

来年も待ち
ゆうきね



高知丸の内高校バレー部の皆さん



ナツボラ記者

NPO U-30 特別編

大集合!



ナツボラ記者って?

今年のナツボラでも多くの学生が県内各地で活躍してくれました。その様子取材し、ボランティアの魅力を伝えようと記事にしてくれるのが「ナツボラ記者」です。記者として活躍してくれた5人の学生を紹介します。



取材の前に記者の5人に集まってもらい企画会を実施。今回のてをつなGOの紙面構成について話し合ってもらいました。



高知追手前高校
小松 真緒さん

猫と音楽が好きとのこと。取材先の学生さんとともに打ち解ける話術がステキでした!



高知追手前高校
門脇 百南さん

創造性にあふれた門脇さん。企画会でも積極的にたくさんの意見を出してくれました。



高知工業高校
永野 怜さん

将来のために色々な経験を!との思いからナツボラ記者に応募してくれました。



高知春野高校
岩戸 瑛士さん

水泳好きで元気な学生さん。取材中のコミュニケーションがとても上手でした!



高知商業高校
上田 蓮さん

趣味は瞑想!
独特な世界観が魅力的です。



2020年

今年もナツボラ!に参加しました

ナツボラ記者Report



ナツボラ訪問MAP

この夏も、高知県内では、
様々なボランティア活動が行われました。
そこへナツボラ記者の5人が訪問♪
活動の様子や参加者の声を集めてきてくれました。

① 地域の子どもに土曜夜市で夏の思い出を!



土佐市青年団

スーパーボールすくいやストラックアウトなどに加え、アイスやかき氷の販売を行っているお店が並び、子どもたちはとても楽しそう。その様子を見ている高校生ボランティアも笑顔で、とても穏やかな時間が流れていました。

この活動に参加したきっかけは、進路に関係する活動や地域と関わることのできるボランティアがしたかったからとのこと。今回、取材を行って改めて「ボランティアが人々を繋ぐ」ということを感じました。参加する理由は、人それぞれだけど、皆の気持ちが一つになるのは、ボランティアには人々を繋ぐ力があるからだと思います。



③ 認知症の方や家族の方と交流を [さんさんカフェ (認知症カフェ)]

高知市社会福祉協議会



当日は新型コロナウイルス感染症や、熱中症の危険があるということで、利用者の方は来られませんでした。ですが、イベント実施をされた方や、ボランティアさんの意見交流の場となり、とても有意義なものでした。普段は利用者さんや、その家族の方たちと楽しんだり、意見交流をしているそうです。



認知症を患った方のドラマをみたのがきっかけで、友達を誘ってこのボランティアに参加したそうです。活動するまでは、利用者さんにどのように対応するのかや、具体的な活動内容のイメージなどを考えることが多かったとのこと。ボランティアは活動していくうちに、利用者さんと一緒に自分たちも楽しめる良い機会だと話してくれました。

④ 地球を守ろう～おうちでエコバッグづくり

高知県地球温暖化防止活動推進センター



顧問の大黒先生の勧めもあり、高知丸の内高校のバレー部全員で参加しました。

エコバッグづくりは、本当に大変だったけれど、自分の活動が社会のために役立つことにやりがいを感じ、将来の自分のためにもなるいい経験だった、と答えてくれました。

今回が初めてのボランティア活動という方からは「参加して良かった」と言ってもらえて、とても嬉しくなりました。

レジ袋有料化を機に、温暖化について学びながらエコバッグをつくろう!というこの夏にピッタリのボランティアでした。おうちでできるボランティアとして、多くの参加申し込みがありました。完成したエコバッグは、これから地域のたくさんの方のために活用されます。



⑤ 図書館に飛び込め! ~本のラベルを貼り替えよう

香美市立図書館



令和4年度の新築移転に向けて、高校生ボランティアが図書ラベルの貼り替えをお手伝い。古いラベルをカッターや専用の液を使って慎重にはがし、新しいものに貼り替えます。

本を傷つけないように、はじめはみんな慎重な手つきでしたが、段々コツをつかんでスムーズに作業を進めていました。

今回、活動に参加してみて、皆さんとても元気で、目や耳が不自由な方も一生懸命、楽しそうに取り組んでいた。お手伝いをした時に、「綺麗にできてよかった。嬉しかった。」と言ってもらえて、元気になる。と話してくれました。

「人の気持ちを考えられるようになりたい」との事で、今回のボランティアが将来のお仕事を指すにあたり、いい経験になったのではないのでしょうか。



まずはこの日のものづくりのテーマである「新聞バッグ」の作成のお手伝い。進めていく中で、マスク作りだったり、畑仕事が趣味の利用者さんなどに、色々なお話を聞くことができました。ほんわかとしていて、沢山の笑顔で包まれた空間がとても幸せでした。



香南市社会福祉協議会

② 人生の先輩からパワーをもらおう! [お達者教室]